

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	生徒指導（進路指導を含む）（Student Guidance（Career Guidance））		
ナンバリングコード	K30110	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	教職関係科目（必修）		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K007151	クラス名	-
担当教員名	斉藤 雄次		
履修上の注意、履修条件	授業に毎回出席することを原則とします。また、教員免許を取得するのに相応しく、授業には積極的・主体的に臨んでください。なお、グループワークを円滑に進めるために、座席を指定します。授業中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員志望に相応しくない行為は厳禁です。また、やむを得ない欠席や遅刻等は事前の連絡をする等、「報・連・相」を身に付けてください。これは教員に限らず、社会人に求められる態度でもあります。これができる人とできない人とは、評価に差がつきます。		
教科書	文部科学省『生徒指導提要(令和4年12月改定)』（ジアース教育新社、2023年）		
参考文献及び指定図書	春日井敏之、山岡雅博編『生徒指導・進路指導[第2版]』（ミネルヴァ書房、2024年） 長島明純編『はじめて学ぶ生徒指導とキャリア教育[第2版]』（ミネルヴァ書房、2024年）など		
関連科目	教育相談、教育心理学、特別支援教育論、特別活動の指導法、その他教職課程科目		

○基本情報		
授業の目的	生徒指導・進路指導（キャリア教育）の基本的な進め方（意義や方法、留意点等）について理解し、学校や教職員の果たす役割について説明することができるようになる。	
	生徒指導・進路指導（キャリア教育）にまつわる問題、例えばいじめや不登校、進路選択をめぐる迷いなどの様々な課題に対するリアクティブな支援はもとより、全ての児童生徒の発達を支える日常的・先行的なプロアクティブな支援のあり方を具体的に説明することができるようになる。	
授業の概要	学校現場で問題となっている生徒指導・進路指導（キャリア教育）上の課題について理解し、各指導に関する専門的知識と実践的指導力を身につけることができるように、それぞれの意義や原理とともに具体的事例を提示し、検討していく。	
	また、生徒指導・進路指導（キャリア教育）が教育活動全体を通じて行われる機能、領域であることを踏まえ、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に取り組んでいくために必要な知識や素養も身につけてもらう。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	斉藤雄次 9年間高等学校の教員として働くうちの7年間、生徒指導部に所属し、生徒にまつわる様々な問題への対応や、生徒会担当教員として生徒への助言等を行ってきた。本科目では、教員としての経験の中で感じた問題意識をもとに、生徒指導のあり方をめぐる様々な話題および知見を学生に提供する。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	学校現場の諸課題に関心をもち、生徒指導や進路指導（キャリア教育）の各授業内容及び課題に主体的に取り組もうとする意欲や態度を修得している。		10点	5点
【知識・理解】	生徒指導・進路指導（キャリア教育）の意義や進め方、必要な基礎的知識を理解し、児童生徒の望ましい成長・発達を援助する具体的支援法を理解している。	30点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】	生徒指導や進路指導（キャリア教育）に関する自身の考えをまとめ、グループ活動等で表現することができる。事前事後の課題でも適切に文章を作成することができる。		10点	5点
【思考・判断・創造】	学校現場及び児童生徒をめぐる諸課題に対して、総合的・分析的等さまざまな観点から考察することができる。	30点	5点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
第3回より、講義の冒頭で、前時の学修内容に関する小テストを課す。そして、それに向けて学修を促す意味も込めて事後課題を課し、小テストの結果と合わせて成績に加味する。また、毎回の講義に向けての事前課題も課し、適切な文章表現力や関心・意欲・態度等を評価する。
小テストは講義終了後採点し、その後、結果を通知する。また中間成績表の配布や期末試験結果の返却もフィードバックとして行い、自身の到達度について、適宜確認してもらう。

○その他
本講義の成績評価と、それに対応する資質・能力との対応は以下の通りである。 Sレベル: 生徒指導・進路指導（キャリア教育）の知識を十分に理解し、そのあり方について意欲的に追究することができる。 Aレベル: 生徒指導・進路指導（キャリア教育）の知識を概ね理解し、そのあり方について追究することができる。 Bレベル: 生徒指導・進路指導（キャリア教育）の知識をある程度理解し、そのあり方について追究しようとしている。 Cレベル: 生徒指導・進路指導（キャリア教育）の知識を最低限理解し、そのあり方について追究しようとしている。
本講義で確認する生徒指導・進路指導（キャリア教育）という内容は、生徒に対する適切な関わり方について理解し、あるいはそれを模索する方法について考えるものでもあり、その点において、次年度に予定されている実習校における教育実習にもつながる。ゆえに、しっかりと理解できるように、各自の努力、すなわち学び続ける姿勢を持ち、実行することを求めたい。この姿勢を持たない者、持とうとしない者は、本科目の単位の修得は困難となろう。
なお、教員を目指す人を支援するために、小テストや期末試験では教員採用試験レベルの問題も出題する。各自、そのつもりで履修し、学習を深めていただきたい。
また、そうした特徴のために、毎回の出席を当たり前にしていただきたい。出席して講義の内容を理解することが、小テストおよび期末試験の出来に直結すると考え、能動的に学修に取り組むことのできる学生、あるいは出席して、よりよい生徒への対応のあり方をしっかりと考え、知識を自分のものにしていこうとする学生こそが、教育実習に行き、あるいはその後の学校現場において、生徒の側に寄り添った生徒指導や進路指導（キャリア教育）をできるのだと、講義担当者は考える。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	生徒指導（進路指導を含む）（Student Guidance（Career Guidance）	授業コード	K007151
学修内容				
1. イントロダクションー生徒指導・進路指導（キャリア教育）とはー				
受講生がこれまでの学校教育で受けてきた生徒指導・進路指導（キャリア教育）を振り返り、そのあり方について考察する。具体的な事例をもとに、生徒指導・進路指導（キャリア教育）に対するイメージを深める。				
予習	中学生、高校生時代に自身が受けた指導について振り返り、気づきをまとめる。			（約2.0h）
復習	『生徒指導提要』まえがきを読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
2. 生徒指導の基礎				
生徒指導の意義、生徒指導の構造、生徒指導の方法、生徒指導の基盤、生徒指導の取組上の留意点について理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
復習	『生徒指導提要』第1章を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
3. 生徒指導と教育課程				
児童生徒の発達を支える教育課程、教科の指導と生徒指導、道徳科を要とした道徳教育における生徒指導、総合的な学習（探究）の時間における生徒指導、特別活動における生徒指導について理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
復習	『生徒指導提要』第2章を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
4. チーム学校による生徒指導体制（1）				
チーム学校における学校組織、生徒指導体制、教育相談体制について理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
復習	『生徒指導提要』第3章前半を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
5. チーム学校による生徒指導体制（2）				
生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援、危機管理体制、生徒指導に関する法制度等の運用体制、学校・家庭・関係機関等との連携・協働について理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
復習	『生徒指導提要』第3章後半を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
6. いじめ・暴力行為に対する生徒指導				
いじめ防止対策推進法、いじめに関する生徒指導の重層的支援構造などについて理解する。暴力行為に関する対応指針、暴力行為に関する生徒指導の重層的支援構造などについて理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
復習	『生徒指導提要』第4章、第5章を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
7. 少年非行・児童虐待に対する生徒指導				
少年法・児童福祉法、少年非行への視点、少年非行への対応の基本などについて理解する。児童福祉法・児童虐待の防止等に関する法律、児童虐待の課題予防的生徒指導などについて理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
復習	『生徒指導提要』第6章、第7章を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
8. 自殺・中途退学に対する生徒指導				
自殺対策基本法、自殺予防に関する生徒指導の重層的支援構造などについて理解する。中途退学の関連法規と基本方針、中途退学の未然防止と組織体制などについて理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）
復習	『生徒指導提要』第8章、第9章を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			（約2.0h）

○授業計画	科目名 担当教員	生徒指導（進路指導を含む）（Student Guidance（Career Guidance） 齊藤 雄次	授業コード	K007151
学修内容				
9. 不登校・ひきこもりに対する生徒指導				
不登校に関する関連法規・基本指針、不登校対応に求められる学校の組織体制と計画、不登校に関する生徒指導の重層的支援構造などについて理解する。より深刻な問題としてのひきこもりと、不登校の関係について理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
復習	『生徒指導提要』第10章を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
10. インターネット・携帯電話、性に関わる問題に対する生徒指導				
インターネット関連法規・基本方針、インターネットをめぐる課題に対する重層的支援構造などについて理解する。性犯罪・性暴力対策の強化の方針、性犯罪・性暴力に関する生徒指導の重層的支援構造などについて理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
復習	『生徒指導提要』第11章、第12章を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
11. 多様な背景を持つ児童生徒に対する生徒指導				
発達障害に関する理解と対応、精神疾患に関する理解と対応、健康課題に関する理解と対応、支援を要する家庭状況について理解する。				
予習	生徒指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
復習	『生徒指導提要』第13章を読み、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
12. 進路指導・キャリア教育の意義および理論				
進路指導とキャリア教育の違いも含めた、進路指導・キャリア教育の意義や原理について理解する。				
予習	進路指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
13. ガイダンスとしての進路指導・キャリア教育				
全ての児童生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方と指導のあり方について理解する。				
予習	進路指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
14. カウンセリングとしての進路指導・キャリア教育				
児童生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方とあり方について理解する。				
予習	進路指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
15. まとめ				
生徒指導・進路指導（キャリア教育）をめぐるこれまでの学修で扱いきれなかった事項、例えばシティズンシップと生徒指導・進路指導（キャリア教育）の関係などについて理解する。またこれまでの学修を振り返り、生徒指導・進路指導（キャリア教育）のあり方についてあらためて考察する。				
予習	生徒指導・進路指導に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			(約2.0h)
復習	これまでの学修を振り返り、学んだことをまとめる。			(約2.0h)
16. 期末試験				
これまでの授業内容についての総合的な試験を実施する。詳細については、事前に連絡する。				
予習	これまでの学修を振り返り、学んだ知識や考え方を整理する。			
復習				